

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）について

感染管理認定看護師 佐々木勝弘



今年8月に関西空港において、成人の麻疹（はしか）が流行しニュースになりましたが、麻疹＝こどもの感染症ではないことをご存知でしょうか。

実は、2007～2008年に10～20代の若者を中心に全国流行した麻疹、2012～2013年に成人男性を中心に全国流行した風疹に代表されるように、麻疹や風疹は免疫がなければ成人でも感染リスクがあります。それ以外に水痘（水ぼうそう）や流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）も同じで、免疫がなければ成人でも感染することがありますが、今回は流行性耳下腺炎についてお伝えいたします。

【主な感染経路】

患者の咳やくしゃみなど、ウイルスを含んだしぶきを吸い込む、または患者の唾液などで汚染されたものと接触して、鼻や口を通してウイルスを取り込むことにより感染します。体内に侵入したウイルスは、鼻・咽頭部及びその周辺のリンパ節で増えます。増えたウイルスは、唾液腺・すい臓・睾丸・卵巣・髄膜に広がります。

【症状】

ウイルスが体内に侵入してから2～3週間の潜伏期（症状が出ない期間）を経て、唾液腺（耳下腺等）の腫脹・圧痛・嚥下痛・発熱を主症状として発症し、1～2週間で軽快します。耳下腺の腫脹は両側が腫れる場合が多いですが、片側の場合もあります。感染力はかなり強いのですが、症状が現れない不顕性感染も30%ほどあります。不顕性感染でもウイルスを排出するので、周囲の人を感染させる可能性があります。

成人が感染した場合、男性で最も多い合併症は睾丸炎です。両側の睾丸が腫れ、痛み、吐気、発熱が急に出現します。歩くと痛みが増すので、ベッドでの安静が必要です。女性では卵巣炎が起こります。妊娠初期に感染すると、流産の確率が高まります。

また、おたふくかぜは聴力を失う原因の一つです。20,000例中1例で聴力を失います。このうち80%が片側のみで、突然発症します。

【治療】

特効薬はなく、症状に応じた対症療法のみです。

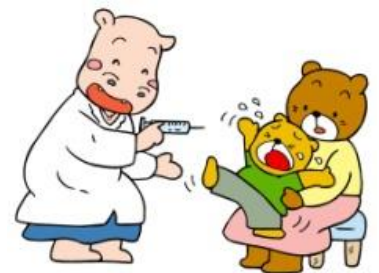
【予防】

唯一の方法として、ワクチン接種が効果的です。小児期のワクチンは、定期接種と任意接種があります。おたふくかぜは任意接種となるので、こどもでも自費で接種することになります。（自治体により公費助成があります。）ワクチンを接種すれば、概ね90%が有効なレベルの免疫を獲得できます。

【最後に】

一度おたふくかぜにかかるとう一生免疫を獲得するとされていますが、必ずしも一生有効レベルの免疫が続くわけではありません。再度、おたふくかぜにかかる事例も報告されていますので、ご注意ください。

ワクチン接種は発症予防の他、重症化予防の効果も期待できますので、体質などによりワクチンを接種できない人に感染させないためにも、周囲がワクチンを接種して、流行させないようにすることが大切ではないでしょうか。



～患者満足度調査～

当院では、毎年、受診される患者さんを対象に、施設環境や職員の接遇などについてアンケート調査を実施し、寄せられたご意見やご要望を取り入れて、より良い病院となるよう改善を進めています。

外来	満足率(%)	H28	H27
環境	ロビー待合室	83.0	(85.4)
	院内施設	78.1	(84.2)
	待ち時間	58.8	(62.1)
職員の対応	言葉遣い・態度	95.0	(95.4)
	身だしなみ		
	説明の分かり易さ		
病状、治療、検査の説明		97.3	(84.6)
親類知人への紹介		89.0	(88.6)

入院	満足率(%)	H28	H27
病室		90.8	(86.8)
院内施設		91.9	(88.5)
職員の対応	言葉遣い・態度	98.1	(98.1)
	身だしなみ		
	説明の分かり易さ		
病状、治療、検査の説明		89.2	(90.1)
親類知人への紹介		95.0	(95.8)

【平成 28 年度のご意見の傾向】

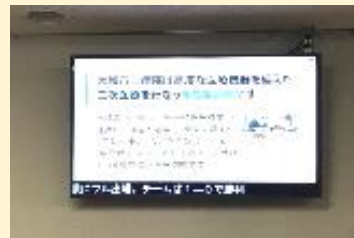
(増加した意見)

- ⇒職員の接遇内容、説明能力が向上している。
- ⇒当院を親類知人に紹介したい。

×⇒施設老朽化が目立つ、空調が特に悪い。

×⇒外来については、利用者増の一方で、根本的な待ち時間対策が取れていない。

※待ち時間対策は継続して取り組んでまいります。



【平成 27 年度の調査・ご意見への主な対応例】

- ・待ち時間を有効活用したいというご意見に対し、情報モニターを増設しました。
- ・施設のごみ、汚れが気になるというご意見に対し、清掃区域を分類し、より清掃を強化する場所を定めるとともに、ゴミ回収時間帯を調整しました。

〈担当：業務改善推進委員会〉

～災害拠点病院として～

今年も熊本地震や鳥取地震など、大規模な自然災害が各地で発生しており、大和市でもいつ災害に見舞われるかわかりません。当院では、大規模災害に備え、10月15日(土)、職員など約130名が参加して、災害対応訓練を行いました。訓練は、神奈川県西部で断層型地震が発生し、被災した多数の患者さんが病院に押し寄せるといった設定で行いました。仮想患者役として参加して下さった湘央学園救急救命科の学生さんの迫真の演技のおかげで、実災害さながらの緊迫感のあるものとなりました。また、大和消防の救急隊が実際に救急車で仮想患者を搬送するなど、消防との連携訓練も行いました。このほか、今回は外部の医療チームを受け入れる訓練のため、東京都町田市の南町田病院のDMAT(災害時医療派遣チーム)にも参加していただき、病院の枠を超えて、医療活動や本部活動も行いました。



★Interview★

看護補助者

さとうりゅうじ

佐藤竜嗣 (22)

看護補助者として、7階南病棟で勤務する、佐藤竜嗣さんにインタビューしました。

佐藤さんは小学生からサッカーを始め、高校はサッカー推薦で進学するほど熱心に取り組んだそうです。サッカーのコーチに救急救命士がいて、その方の勧めもあって、救急救命士の専門学校に進学し、国家資格である救急救命士の資格を取得しましたが、消防署に勤務するという希望がかなわなかったため、以前から看護師の仕事に興味があったこともあり、看護補助者として昨年6月から当院で勤務しているということです。

看護補助者の業務内容は、カルテ出し、リハビリや検査・手術への患者の送迎、シーツ交換や入浴介助、配膳など多岐にわたります。佐藤さんの勤務する病棟は整形外科とリウマチ科専門で、介助が必要な方が多いために男手は重要だそうで、近年は認知症患者さんも増加傾向にあるため、看護師だけで患者さんを管理するには限界があり、看護補助者の役目は重要になってきているそうです。

当院で働いているうちに、病棟の看護師から看護師の資格を取得することを勧められ、次第に看護師になる事が目標となったようで、現在は来年の1月に行われる看護学校の入学試験に向け、猛勉強中だそうです。看護師になったら当院に就職することが希望だそうで、雰囲気がとても良い7階南病棟で勤務し、認定看護師の資格などを取得することが夢だと話してくれました。頑張って夢を現実のものにして欲しいですね。

※現在では珍しくない男性看護師ですが、10月現在、27名が所属しています。また、認定・専門看護師は11名が活躍し、市民の健康を守っています。



大和市看護師等奨学金貸付制度のご案内

◆ 制度の目的

この制度は、地域医療を支えるための助産師、看護師を育成するために、修学等に必要な資金として奨学金の貸付を行うものです。

◆ 貸付要件

- ① 助産師または看護師を養成する施設（※）に在学する学生である者
- ② 上記の養成施設を卒業した後、看護職員として大和市立病院に勤務する意思を有する者
- ③ 成績がすぐれ、性行が正しく、身体が健康である者

◆ 奨学金の額：月額50,000円

◆ 貸付期間：奨学生として決定された月から養成施設を卒業する月までの期間

◆ 返還の免除

奨学金を受けた期間に相当する期間を助産師または看護師として当院に勤務したとき、奨学金の返還を免除します。

※詳しくは当院ホームページをご覧ください。 [『大和市立病院看護部奨学金』](#)でクリック！！

【お問い合わせ先】

大和市立病院 病院総務課総務調整担当 電話：046-260-0111（代）

～業務改善提案の取り組み～

当院では、患者サービスの向上や、業務の効率化を目的として、勤務する全職員（委託業者含む）を対象として「業務改善提案」を実施しています。ここでご紹介するのは、平成27年度中に採用し、改善の取り組みがなされたものです。

【多言語表示の案内板の設置】

【狙い】来院される外国籍の方が、通訳等を介さずに、スムーズに目的を果たせるような環境整備。

【改善】正面玄関及び北口入口近くに、英語表記の案内板を設置。（団体寄贈に併せて設置）



【大型掲示板の設置】

【狙い】掲示情報をまとめ、読みやすくする。

【改善】掲示物を来院時に確認しやすいように、正面入口に大型掲示板を設置。

【外来待ち合いモニターの増設】

【狙い】外来待ち時間の有効活用

【改善】混雑しがちな診療科前に情報モニターを増設。

【受付窓口側に、荷物置き、杖かけの設置】

【狙い】受付時に手が自由になるような環境整備。

【改善】荷物置き場の表示と設置。杖かけ用のすべり止めの設置。



【トイレの洋式化】

【狙い】足腰の弱い方や和式トイレに慣れていない方に対して、使いやすいトイレの整備。

【改善】小児病棟に洋式トイレを設置したことにより、全病棟の洋式トイレ設置工事が終了。

※その他、業務改善提案や患者満足度調査の結果、病院長への手紙などを受けて、改善に取り組んでおります。

〈担当：業務改善推進委員会〉

新任医師紹介

よろしくお願いたします

今年7月から着任しました

耳鼻いんこう科
宮下 圭一

今年10月から着任しました

小児科
今井 祥恵

産婦人科
瀬川 恵子

眼科
木村 典敬

一緒に働きましょう！職員募集中！



〈お問い合わせ先〉 病院総務課 総務調整担当 TEL:046-260-0111 内線 2347